

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
なお、合否結果は、2023年2月に発表し、本人に通知いたします。

2022年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

問1. 結露防止について、正しいものを選びなさい。

1. 調理中や炊飯時には、換気扇を回さない。
2. 開放型ストーブの上にやかんを置く。
3. 浴槽に水が入っている状態では、入浴時以外は努めて蓋をするようにする。
4. 洗濯物は室内干しにする。
5. 室内には植物や水槽などを置いたほうがよい。

問2. ホルムアルデヒドについて、正しい記述を選びなさい。

1. 無色で無臭である。
2. 水に溶けにくい。
3. 35～37%水溶液は、全揮発性有機化合物（TVOC）と呼ばれている。
4. 殺菌作用があり、従来より温室や土壌の燻蒸剤等に利用されている。
5. 常温で固体である。

問3. 厚生労働省が示す室内環境におけるホルムアルデヒドの濃度指針値を選びなさい。

1. $1 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (= 0.0008 ppm)
2. $10 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (= 0.008 ppm)
3. $100 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (= 0.08 ppm)
4. $1 \text{mg}/\text{m}^3$ (= 0.8 ppm)
5. $10 \text{mg}/\text{m}^3$ (= 8 ppm)

問4. 防カビ対策について、誤っているものを選びなさい。

1. 水蒸気の発生を抑える。
2. 換気により湿気を排出する。
3. 除湿により絶対湿度を下げる。
4. 温度を上げて相対湿度を上げる。
5. 薬剤を用いてカビの発生を防止する。

問5. 家庭内の水回りによく見られるチョウバエの発生場所として、正しいものを選びなさい。

1. 動物の死体や糞から発生する。
2. 汚れた河川や排水溝、室内の排水管やトラップから発生する。
3. 腐葉土や肥料から発生する。
4. 羊毛製品、毛皮などから発生する。
5. 樹洞や竹の切り株などから発生する。

問6. 汚れについて、誤っているものを選びなさい。

1. 住まいで発生する汚れの発生原因は、「自然的要因」と「人為的要因」の2つに大別される。
2. 人為的要因の汚れは、人が生活する上で発生する様々な汚れであり、台所の油汚れや浴室の石鹸カスなどがある。
3. コーヒーやお茶による汚れは水溶性物質のため、汚れてから時間の経過に関係なく、洗剤を使用せず水だけで除去可能である。
4. 食用油による汚れは油脂性物質のため、水だけでは除去できないので洗剤を使用し除去する。
5. ガスコンロに付着する焦げ付き汚れは、洗剤だけでは容易に除去することができないので、ヘラなどで削り取る等の物理的作業との併用が必要となる。

問7. 汚れの要因について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

住宅などの建物では、人為的なものとは別に時間の経過とともに発生する汚れがある。 による汚れとしては、建物から発生する浮遊物質による汚れ、カビや衛生害虫等の発生による汚れがある。

1. 自然的要因
2. 生物的要因
3. 化学的要因
4. 物理的要因
5. 機械的要因

問8. 汚れの付着状態と除去方法に関する説明として、正しいものを選びなさい。

1. 表面に付着している状態の汚れには、床面のホコリ、髪の毛などがある。水拭きモップで取ると簡単に除去できる。
2. べたついて付着している状態の汚れとは、ガムやアメのように粘性のあるものが付着している状態である。金やすりなどを使用し、けずり取り除去する。
3. 固まって付着している状態の汚れには、ガスコンロの焦げ付き汚れなどがあり、洗剤だけで簡単に除去できる。
4. 材質と化学的に結合し、付着している状態の汚れには、ガラスや鏡に付着した水垢、トイレの衛生陶器に付着した尿石などがある。洗剤で軽くこすり拭きして除去すれば、材質を傷めることなく簡単に除去できる。
5. 材質に浸み込んだ状態の汚れとは、カーペットや石材など吸水性のある素材に汚れが浸み込んだ状態の汚れである。通常の洗浄では除去できないケースが多く、特殊な洗浄技法が必要となる場合がある。

問9. 洗剤の使用について、不適切なものを選びなさい。

1. 用途や目的にあった洗剤を選択して使用する。
2. 洗浄効果を高めるために、洗剤を組み合わせて使用する。
3. 指定された希釈倍率(希釈濃度)を守り使用する。
4. 材質への影響(変色、脱色、等)を考慮し、目立たない場所で確認してから使用する。
5. 洗剤を使用する際は、ゴム手袋を着用する。

問10. 酸性洗剤の成分である「酸剤」でないものを選びなさい。

1. 塩酸
2. 硫酸
3. シュウ酸
4. 次亜塩素酸ナトリウム
5. フッ酸

問11. 洗剤成分である漂白剤の性質について、誤っているものを選びなさい。

1. 漂白剤には、酸化型と還元型がある。
2. 漂白剤の酸化型には、塩素系と酸素系のものがある。
3. 漂白剤の分類では、次亜塩素酸ナトリウム(次亜塩素酸ソーダ)は、酸化型の酸素系に属する。
4. 次亜塩素酸ナトリウム(次亜塩素酸ソーダ)は、漂白効果に加え殺菌効果がある。
5. 還元型の漂白剤は、鉄サビ等、酸化によって出来た汚れを還元し除去する。

問12. 木質系床材のメンテナンス上の性質について、正しいものを選びなさい。

1. フローリング床材の傾向として、UV（紫外線硬化型）塗装のフローリングは、樹脂ワックスが密着しやすく、水の介在による樹脂ワックス皮膜の白化や剥がれがおきにくい。
2. 複合フローリング床材は、洗剤など水分の影響で膨張するため、床の膨れなど問題が発生することがある。
3. フローリング床材は、洗剤など水分の影響で膨張することはない。
4. 白木（無塗装木床）に洗剤を多量に使用すると、木目によっては床表面がケバ立ちを起こすことがあるが、樹脂ワックスを塗布することによる影響はない。
5. 白木（無塗装木床）に油性ワックスを塗布すると、白木の風合いを変えてしまうことがあるが、樹脂ワックスであれば白木の風合いを変えることはない。

問13. 塩ビ系床材のメンテナンス上の性質について、誤っているものを選びなさい。

1. コンポジションビニル床タイルは、樹脂ワックスの密着性に優れる反面、初めてワックスを塗布する際や剥離作業後は、吸い込みが多く光沢が出にくい傾向にある。
2. 複層（ホモジニアス）ビニル床タイルは、床材からの可塑剤の表面移行が多く、塗布時に樹脂ワックスのハジキが発生することがある。
3. 複層（ホモジニアス）ビニル床タイルは、樹脂ワックス皮膜が床材と密着せず剥がれてしまうなどの問題が起きる場合がある。
4. クッションフロアは、樹脂ワックスの密着性に優れる傾向にあるが、初めてワックスを塗布する際は、吸い込みが多く光沢が出にくい傾向にある。
5. クッションフロアは、弾力性が非常に高く、歩行など外部からの衝撃により床材が変形しやすいため、特に樹脂ワックス被膜が厚くなり過ぎると、樹脂ワックス皮膜の割れや剥がれが生じる場合がある。

問14. 塩ビ系床材のメンテナンス性質について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

は、樹脂ワックスの密着性に優れる傾向にあるが、初めてワックスを塗布する際や剥離作業後は、樹脂ワックスの吸い込みが多く光沢が出にくい。

シール性の良い高濃度タイプなど、光沢の出やすい樹脂ワックスの選定が望ましい。

1. 複層（ホモジニアス）ビニル床タイル
2. コンポジションビニル床タイル
3. 長尺塩ビシート
4. インレイドシート
5. クッションフロア

問15. ワックスの分類上から、光沢や耐久性に優れ、現在最も多く使用されているワックスを選びなさい。

1. 油性ワックス
2. 乳化性ワックス
3. 水性ワックス
4. 樹脂ワックス
5. 半樹脂ワックス

問16. ワックスの分類について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

は、天然ワックスや合成ワックス、ろう状物質などの不揮発性成分と、主として石油系溶剤で構成される揮発性成分を、界面活性剤によって水に乳化して作られた製品である。

1. 油性ワックス
2. 乳化性ワックス
3. 水性ワックス
4. 半樹脂ワックス
5. 樹脂ワックス

問17. ワックスの分類について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

は、アクリル系樹脂、アクリルースチレン系樹脂などの合成樹脂を主成分として作られた製品である。

1. 油性ワックス
2. 乳化性ワックス
3. 水性ワックス
4. 半樹脂ワックス
5. 樹脂ワックス

問18. 樹脂ワックスの性能について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

とは、ワックス塗布乾燥後の塗膜表面の平滑性のことである。

に劣るワックスは、ワックス塗布乾燥後にモップの塗り跡などが残りやすい。

1. レベリング性
2. 塗布光沢
3. シール性
4. 重ね塗り性
5. 低温造膜性

問19. 樹脂ワックスの粉化現象について、誤っているものを選びなさい。

1. 樹脂ワックス皮膜が何らかの原因で、粉状に剥がれていく現象を、粉化現象という。
2. 樹脂ワックスを低温時に塗布したことにより、ワックスの造膜不良が発生することがある。
3. 樹脂ワックス皮膜がワックスの造膜不良で発生すると、人の歩行の衝撃などで容易に剥がれやすくなり、粉化現象が発生することがある。
4. 樹脂ワックス皮膜の密着不良においては、特に密着性が悪い床材が原因で粉化現象が発生することはない。
5. 床面に汚れや洗剤成分などの異物が残っている状態で、樹脂ワックスを塗布すると、密着不良がおき、粉化現象が発生することがある。

問20. 金属磨き剤、サビ除去剤についての説明として、誤っているものを選びなさい。

1. 金属磨き剤は、真鍮、銅などのサビ除去や、クロムメッキ、ステンレスなどの軽度なサビ・水ハネ跡の除去に使用する。
2. 金属磨き剤は、用途以外の材質に使用するとキズの原因となり、材質表面を傷めてしまうことがあるので注意が必要である。
3. 金属磨き剤はカルシウム石鹼基グリースといい、キズを消す作用が高く、ゆっくり時間をかけながら擦り続ける。
4. アルミサッシは洗剤で洗浄後、必要に応じて金属磨き剤で保護・艶出しする。
5. クレンザーで除去できないようなシンクやガスコンロなどのサビについては、サビ除去剤を使用する。

問21. pHと洗剤の液性の関係について、誤っているものを選びなさい。

1. 酸性 pH0～3
2. 弱酸性 pH3～6
3. 中性 pH5～9
4. 弱アルカリ性 pH8～11
5. アルカリ性 pH11～14

問22. ハウスクリーニングで使用する資材について述べた次の記述の に入る言葉を選びなさい。

は、ポリエステルやナイロンなどを原料とした合成繊維で作られた製品である。繊維の細さ（直径 $8\mu\text{m}$ 以下）と繊維表面の構造で、柔らかな肌触りと吸水性の高さが特徴である。

1. スポンジタワシ
2. メラミンスポンジ
3. 化学雑巾
4. ダスタークロス
5. マイクロファイバークロス

問23. 床みがき機について、最も適切なものを選びなさい。

1. モーター部は防水仕様なので、水に濡れても問題は無い。
2. 床洗浄時は常に、高速回転のものを使用する。
3. カーペット洗浄用ポリッシャーは、低速回転のものが望ましい。
4. 定期的なプラグ・コード・絶縁抵抗等の確認は行わない。
5. 他の清掃用機器と併用しても、ブレードが落ちることはない。

問24. 負荷開閉器について、正しいものを選びなさい。

1. 負荷開閉器 20A コンセントの容量は、20A 以内の容量の範囲で使用する。
2. 負荷開閉器 20A コンセントの容量は、20A 未満の容量の範囲で使用する。
3. 負荷開閉器 20A コンセントの容量は、15A 以内の容量の範囲で使用する。
4. 負荷開閉器 20A コンセントの容量は、15A 以上の容量の範囲で使用する。
5. 負荷開閉器 20A コンセントの容量は、主開閉器が落ちなければ上限は無い。

問25. カーペットの素材について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

のカーペットの特徴は、引っ張り強度が特に大きく、また、屈折強度、摩擦強度が他の繊維に比べて格段に優れ、かつ耐薬品性、耐水性があり、虫やカビに対する抵抗性が強いことである。

1. アクリル
2. ウール
3. ナイロン
4. レーヨン
5. 綿

問26. 加工されているカーペットの繊維素材の主な鑑別法として燃焼法があるが、繊維素材の燃え方で正しいものはどれか選びなさい。

1. ウールは、収縮・溶解しながら徐々に燃える。
2. レーヨンは、ちぢれながら、くすぶるように、ゆっくりと燃える。
3. ナイロンは、引火しやすくパッと紙のように早く燃える。
4. アクリルは、収縮・溶解しながら弱い炎を放って燃える。
5. ポリプロピレンは、溶解し、黒煙をあげ煤の多い炎を出して燃える。

問27. フローリングの分類について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

日本農林規格によるフローリングの分類は、主として、板その他の木質系材料からなる床板で、表面加工その他所用の加工を施したものを総称して「フローリング」と定義し、 と複合フローリングに大別している。

は、厚さ方向（垂直方向）に断面を見た場合、1つの材で構成されたフローリングである。クリーニングの際、多量に水を使用すると「反り」のトラブルを招くことがあるので注意が必要である。

1. 合板フローリング
2. シートフローリング
3. 単層フローリング
4. 針葉樹合板フローリング
5. WPC系フローリング

問28. フローリングについて述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

複合フローリングには、表面をより硬く、傷つきにくくする目的で、木材の組織にプラスチックを充填し硬化させる を施した製品もある。

1. コーティング加工
2. UV加工
3. ポリッシュ加工
4. FRP加工
5. WPC加工

問29. リノリウム床について、正しいものを選びなさい。

1. リノリウムは、アルカリ性の洗剤類によって変色しやすい床材である。
特に、強アルカリ性のハクリ剤によって変色することがある。
2. リノリウムのハクリ作業を行う場合は、酸性ハクリ剤を使用しなければならない。
3. リノリウムにワックスを使用する際は、ハクリしにくい樹脂ワックスを選定し、ハクリ作業の際は、中性ハクリ剤を使用する。
4. リノリウムは、耐摩耗性を有していない。
5. リノリウムは、抗菌性を有していない。

問30. 建物外装材としてのガラスの記述の中から、誤りを選びなさい。

1. 型板ガラスは、溶解ガラス素地をロールの間に通し、その際ローラーの様々な模様を押し付けて製造される。
2. 強化ガラスは、フロート板ガラスを加熱炉に入れて軟化温度（1,600～1,700℃）近くまで加熱した後に、両面から冷風を吹き付けて急冷したものの。
3. 網（線）入りガラスは、溶解ガラス素地をロール形成する時に、金属製の網または線をガラス内部に挿入した板ガラスのことをいう。
4. 合わせガラスは、複数（通常は2枚）の板ガラスの間に、透明で強靱なポリビニルブチラール膜（厚さ：0.3～0.4mm）などが圧着されたもの。
5. 複層ガラスは、2枚のガラスの中間層（6mm 或いは 12mm が一般的）に乾燥空気を閉じ込め（乾燥剤を封入）、断熱性を高めたもの。

問31. 住宅用内壁材としてのクロス（壁紙）張りについて、誤っているものを選びなさい。

1. 紙系は、パルプや再生パルプなど紙系の原料を素材とし、プリントやエンボスなどの加工を施した壁紙をいう。
2. 繊維系は、綿、麻、レーヨンなどセルロース系の天然・再生繊維、あるいはアクリル繊維などの化学繊維を主な素材とする壁紙をいう。
3. プラスチック系は、プラスチックを主な原料とする壁紙、または、表面加工層に 20g/m^2 以下のプラスチックを使っている壁紙をいう。
4. 無機質系は、無機質紙、無機質骨材、ガラス繊維、金属などの無機質材を主素材とする壁紙をいう。
5. 紙系、繊維系、プラスチック系、無機質系等の他、 0.2mm 程度の木板に裏打ち紙を張った木質系壁紙やケイ藻土などの自然素材を用いた壁紙などもある。

問32. カビ汚れがあるクロス壁面のクリーニング作業に適する洗剤を選びなさい。

1. 中性洗剤
2. 強アルカリ性洗剤
3. 塩素系洗剤
4. 弱アルカリ性洗剤
5. 酸性用洗剤

問33. 主な排水トラップの種類として、不適切なものを選びなさい。

1. Sトラップ
2. Tトラップ
3. Pトラップ
4. 袋トラップ
5. わんトラップ

問34. 排水トラップの封水がなくなる主な原因について、誤っているものを選びなさい。

1. 蒸発
2. 毛管現象
3. 自己サイホン作用
4. カビの発生
5. 誘導サイホン作用

問35. トイレ便器で発生する尿石の主な成分として、正しいものを選びなさい。

1. 水酸化ナトリウム
2. 水酸化カリウム
3. 水酸化カルシウム
4. リン酸カルシウム
5. 脂肪酸カルシウム

問36. ハウスクリーニングにおけるマナーについて、誤っているものを選びなさい。

1. ハウスクリーニング業務の特徴は、スタッフの仕事ぶり、その人の外観、言動などによって評価はされないという点である。
2. 接客の基本は、全て相手の立場に立って振る舞うことである。
3. 何事によらず、決められた時間は必ず守る。
4. お辞儀は日本古来から伝承されてきた、相手を敬う心の表現行為である。
5. 報告する、連絡する、相談するは、仕事と人間関係をよくする上で、とても大切である。

問37. お客様の満足度とクレームについて、誤っているものを選びなさい。

1. 現在は、ハウスクリーニングの技術が優秀でも、競合他社との差別化は難しく、また、技術力だけでお客様に選ばれる時代ではない。
2. お客様との間で質の高いコミュニケーションを築き、信頼していただく関係を創出することが重要である。
3. お客様の満足を得るためには、お客様の真の声を聴くことから始めるべきである。特にお客様の不満の声を聞くことが重要になってくる。
4. お客様の苦情やクレームには対応しなければならないが、常にこちらから声をかけておく等、積極的に耳を傾ける必要は無い。
5. お客様満足の基本は、「お客様の目線でものを見る」というスタンスである。

問38. ハウスクリーニングのマナーについて述べた次の記述の に入る最も適切な言葉を選びなさい。

ハウスクリーニング業務の特徴の一つは、ハウスクリーニングスタッフの仕事ぶりや、外観・言動などのマナーによって評価される点である。ハウスクリーニングスタッフの 、仕事の仕上がりがよくても、マナーの面でお客様から反感を買うようなことがあれば、次の依頼はないものと思わなければならない。

1. 技術・技能は良好で
2. 言葉使いが良好で
3. 制服も良好で
4. 身だしなみも清潔で
5. 人格が良好で

問39. 厚生労働省「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」について、正しいものを選びなさい。

1. ILO（国際労働機関）によるガイドラインなどの動向をわが国に取り入れたもので、事業者の講ずべき具体的な措置として法律で厳しく義務化されている。
2. 内容の中核であるリスクアセスメントとは、過去におけるリスクの調査を行うことであり、労働災害の防止に直結する具体的で有効な手法とはいえない。
3. 安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成、実施等の多くは、リスクアセスメントに基づいて行われる。
4. リスクアセスメントの実施に際しては、あらかじめ「労働者」の意見だけを聴けば良く、機械設備等のリスク情報、ヒヤリハット事例や災害事例などを調べておく必要性は無い。
5. 事業場における安全衛生管理についての、P（Practice、練習）、D（Do、実施）、C（Check、評価）およびA（Arrange、整理）の「PDCA サイクル」という一連の自主的活動を継続して実施することを求めている。

問40. 洗剤・溶剤・薬品等の安全対策について述べた次の記述の に入る言葉を選びなさい。

安全衛生の見地から、特に注意を必要とするのは、強アルカリ性洗剤と はいずれも、作業者の皮膚障害等を招く恐れがあるので注意を要する。さらに、漂白剤やカビ取り剤として使用される次亜塩素酸ナトリウムは、 との混合で危険なガスが発生するので特に注意が必要である。

1. 中性洗剤
2. 弱アルカリ性洗剤
3. 酸性洗剤
4. 水
5. 研磨剤

問41. ハウスクリーニング業に類似する第三次産業であるビルメンテナンス業における労働災害の特徴について述べた次の記述の に入る言葉を選びなさい。

2019年のビルメンテナンス業界における労働災害の発生状況を型別に見ると、 の割合が最も多い。

1. 動作の反動・無為な動作
2. 墜落・転落
3. 転倒
4. はさまれ・巻き込まれ
5. 交通事故（道路）

問42. 労働災害について述べた次の記述の に当てはまるものを選びなさい。

労働災害における経験則の一つであるハインリッヒの法則によると、同一の人物に類似した災害が起こる時、数値は「1:29:300」の比率を示す。1回の重度の障害を伴う事故があったら、29回の軽い障害を伴う事故があり、300回もの障害を伴わない、いわゆる が起きていたことになる。

1. コックス比例ハザード
2. インシデント
3. モラル・ハザード
4. ヒヤリ・ハット
5. ゼロ・トレランス

問43. 次の作業計画の作成に関する記述について、 に当てはまるものを選びなさい。

作業人員を決定するためには、作業量の概算見積りと をあらかじめ知ることが必要であり、一般的に、対象面積を見積り、 で割れば必要な作業人員を推定できる。

1. 標準作業時間
2. 主体作業時間
3. 標準作業率
4. 標準作業量
5. 標準作業回数

問44. 標準作業量について、誤っているものを選びなさい。

1. 標準作業量とは、標準的な体力と技術・技能を有する作業従事者が時間内に行うことが出来る作業量である。
2. 作業人員は、対象面積を標準作業量で割ると求められる。
3. 作業人員の算定は作業計画の基本となるので、多くの事例を分析検討して妥当な標準作業量を定め活用することが必要となる。
4. 標準作業量は、個人の技能の向上や技術の進歩により変動することを常に考慮する必要がある。
5. 算定基準として標準作業量を用いる場合には、主体的作業時間を算出するため、附帯作業時間としての後片付け等の時間は組み込む必要は無い。

問45. ハウスクリーニング作業と標準時間の考え方について述べた次の記述の に入る言葉として、最もふさわしくないものを選びなさい。

作業従事者の はそれぞれ個人差があるが、標準時間内に一定の品質に仕上げるための個人の が即、作業の成果に繋がり、ひいてはその企業の評価にも影響を及ぼす。

1. 仕事ぶり
2. 作業の速さ
3. 熱心に向き合う姿
4. 技術・技能
5. 接客マナー

問46. 訪問調査時のポイントとして、誤っているものを選びなさい。

1. 訪問は、顧客の都合に合わせて日時を設定する。
2. 一度決定した約束でも、仕事が立込んでいる場合は、顧客の了解を得ず変更しても構わない。
3. チェックシートに基づき、作業室名、作業箇所、その他顧客の要望を確認する。
4. 応対中、清掃の可能・不可能の別を、事前に細かく確認し、顧客の了解を得る。
5. 建具、壁、その他の部位などの損傷の有無、コンセント、配電盤の位置、ガス、水道等の確認を行う。

問47. 見積からアフターフォローに至るまでの一般的な経緯として、最も適切なものを選びなさい。

1. 訪問・調査→見積依頼→計画書→見積→契約→作業実施→検収→アフターフォロー
2. 見積依頼→計画書→訪問・調査→見積→契約→作業実施→検収→アフターフォロー
3. 見積依頼→訪問・調査→計画書→見積→契約→作業実施→検収→アフターフォロー
4. 見積依頼→訪問・調査→見積→計画書→契約→作業実施→アフターフォロー→検収
5. 見積依頼→訪問・調査→見積→契約→計画書→作業実施→検収→アフターフォロー

問48. ハウスクリーニングにおける基本的な作業工程について、最も適切なものを選びなさい。

1. 作業は自分達のやりやすい場所から行う。
2. 作業は入口から奥へ進むと良い。
3. 場所によっては埃が拡散することもあるが、気にしないで作業を進める。
4. 水周り部分はそれぞれ一括して仕上げる必要があるが、やる場所の順番はどこからでも良い。
5. 天井・照明器具の次に、壁面や窓回り等を掃除し、最後に床面を掃除する。

問49. 作業終了時の手順、留意点として、正しいものを選びなさい。

1. 作業終了後、資機材等の片付けをしたが、資機材等の回収忘れが無いかどうか確認しなかった。
2. 作業で生じたゴミを、そのままにした。
3. 事前のチェックで作業依頼部位の焼き付き、変色等があったが、そのままにした。
4. 顧客からの要求や要請に対して、誠意をもって回答した。
5. 退出時に、顧客に挨拶をせず現場を離れた。

問50. ハウスクリーニングの作業後の確認事項として、最も不適切なものを選びなさい。

1. 資機材の置き忘れの有無
2. 汚れの落ち具合の良し悪し
3. 資機材の安全性
4. 脱色、変色、収縮の有無
5. 移動した家具類の復旧および損傷の有無

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。

なお、合否結果は2023年2月に発表し、本人に通知いたします。

2022年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答
問 1	3	問 11	3	問 21	3	問 31	3	問 41	3
問 2	4	問 12	2	問 22	5	問 32	3	問 42	4
問 3	3	問 13	4	問 23	3	問 33	2	問 43	4
問 4	4	問 14	2	問 24	3	問 34	4	問 44	5
問 5	2	問 15	4	問 25	3	問 35	4	問 45	5
問 6	3	問 16	2	問 26	4	問 36	1	問 46	2
問 7	1	問 17	5	問 27	3	問 37	4	問 47	5
問 8	5	問 18	1	問 28	5	問 38	1	問 48	5
問 9	2	問 19	4	問 29	1	問 39	3	問 49	4
問 10	4	問 20	3	問 30	2	問 40	3	問 50	3